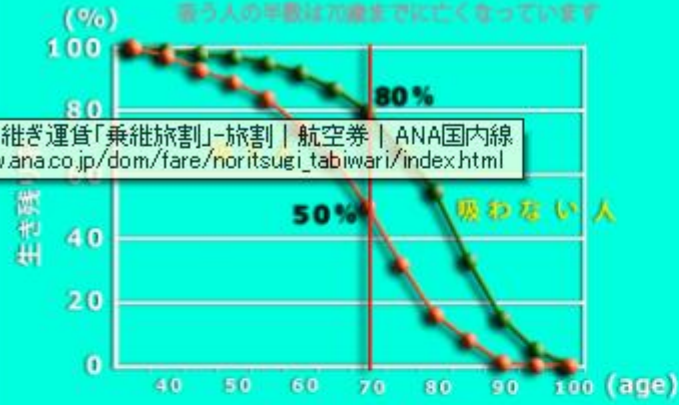


【未成年者がタバコを吸うと】

タバコは 老化 を早めます

吸う人の半数は70歳までに亡くなっています



な乗り継ぎ運賃「乗継旅割」-旅割 | 航空券 | ANA国内線
/www.ana.co.jp/dom/fare/noritsugi_tabiwari/index.html

(イギリス人男性のデータ)

喫煙との関係がはっきりしている疾患いわゆる**タバコ病**によって、**喫煙者の50%は70歳までに死亡する**といわれています。

一方、**喫煙開始年齢が早いほど、タバコ病になる率も高くなる**こともわかっています。たとえば、肺がんによる死亡では、成人になって喫煙を開始した人は、非喫煙者の6倍といわれていますが、**未成年で開始した人はこれが12.7倍にまで高まります**(厚生労働省)。**未成年が1日に3-4本吸うのと、成人が30本くらい吸うのが同じくらいなのです。**

喫煙によって起こる疾患 **発育・発達にも悪影響を与えるタバコ**

- には
- ・気管支炎・喘息
 - ・副鼻腔炎・中耳炎
 - ・集中力の欠如
 - ・視力低下
 - ・虫歯
- など多数あり、がんも起こります。

**タバコを吸う母親から生まれた子供は
身体・知能の発達がかなり遅れる!!**

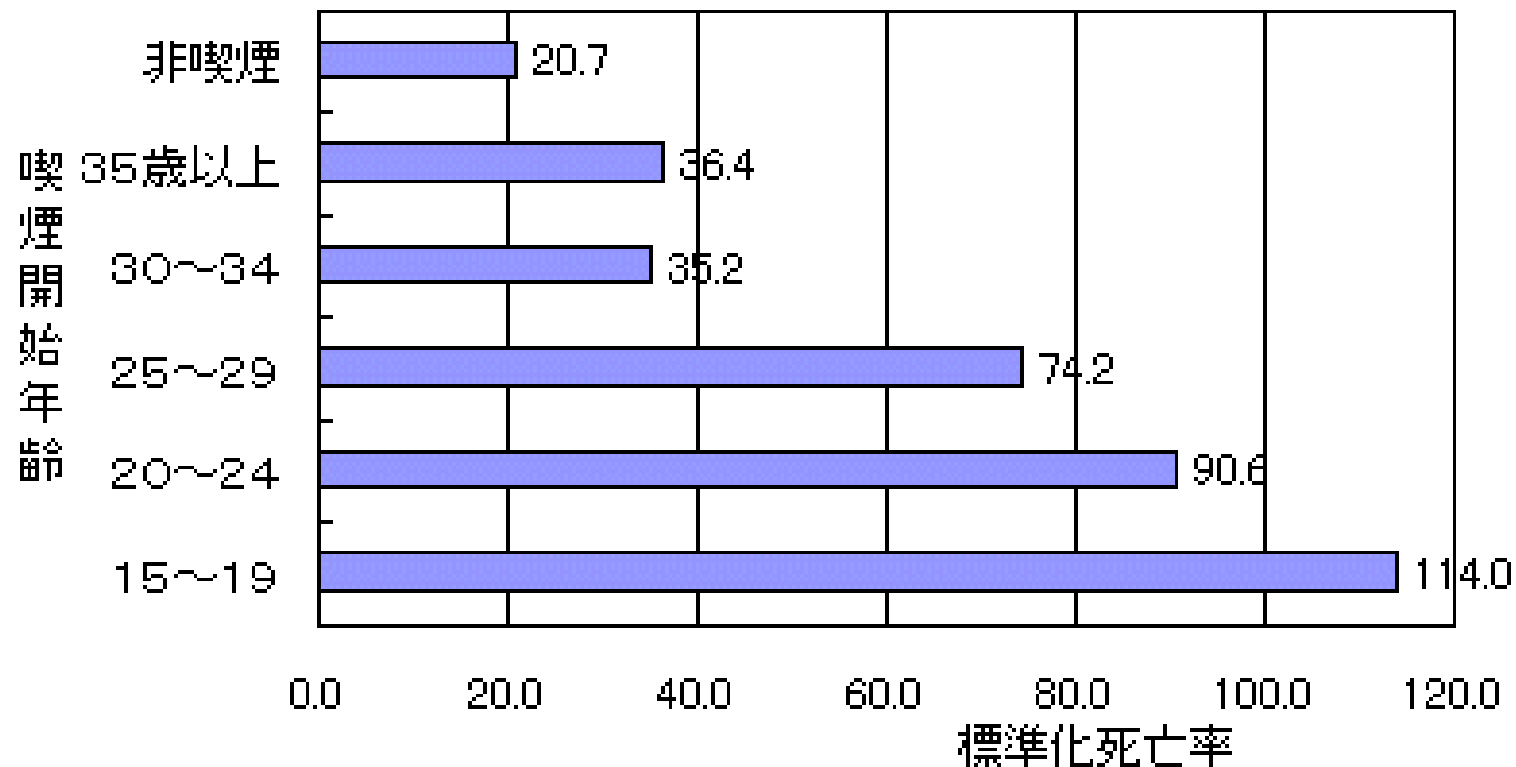


また、**小中学生は、脳も発達する大切な期間である**にもかかわらず、このときにタバコによって、常に脳が酸欠状態にあり、**集中力を欠き、数千もの化学物質にさらされれば、十分な発達はするはずもありません**。受動喫煙でさえ、**知能の低下が報告されています**。
若年者のタバコによる健康への害は成人以上だということです。



喫煙開始年齢と肺がん標準化死亡率(男)

(人口10万人当たりの死亡率)



資料:平山らによる調査(1966 - 82)